



秋田市教育委員会

このマップは、市民がまち歩きをして作成しました!



市民のみなさんに地域の文化財・文化施設をもっと身近に感じて
もらいたいと、文化財イラストマップを作成しました。
マップ作成のためのワークショップでは、20名の市民のみなさん
が実際にまちを歩いて情報を集めました。このマップには、ワーク
ショップ参加者が注目したものとコメントなどを盛り込んであります。
このマップを持ってまちを歩き、地域の文化財・文化施設を楽しん
でください。

秋田市文化会館
◎秋山市山七丁目3-1 ☎018-865-1191

秋田市観光案内所(秋田駅構内)☎018-832-7941
秋田観光コンベンション協会☎018-824-8686

編集・発行:秋田市教育委員会 文化振興室
秋山市山王二丁目1番53号 山王21ビル4階
電話番号 018-866-2246 FAX番号 018-866-2252

協力:半田 和彦(市文化財保護審議会副委員長)
長尾 景義(第1回ワークショップ)
池田 憲和(第2回ワークショップ)

印刷:秋田活版印刷株式会社
イラスト:小西 由紀子
発行日:平成26年3月



臨濟宗（禅宗）のお寺で、藩の家老格浪江家の氏寺です。外観は近代的でありながら伝統的な堂内には、日本画家花岡南生氏の壁画や国の重要文化財である阿弥陀如来坐像などが祀られ、境内には「全良寺官修墓地」のほか、浪江家の墓地や小説家伊藤永之助、中央公論の名編集長滝田椿陰らの墓もありです。

市指定史跡
慶応4年(1868)の戊辰戦争で戦死した、秋田藩および16藩の新政府方(官軍)665名(現在約300)を埋葬した墓地です。明治28年から昭和19年まで国と県が管理していたことから、官修墓地と呼ばれています。



国指定重要文化財(彫刻)

全国的に珍しい銅像で、平安時代末期から鎌倉時代初期の製作と考えられています。この時期の座高4尺の大型の仏像は、全国的にも知られていません。伝来、経緯は不詳です。



市指定有形文化財（建造物）
珍しい花崗岩製の五重の塔です。土崎湊へ来航しようとして嵐にあった北前船が、宝塔寺七面山の燈明を頼りに入港することができ、そのお礼として寄進されたと伝わっています。本来は仏塔であるため、中には多宝如来の石碑が祀られています。



寛政5年(1793)に旧羽州街道沿いに植えられたと考えられる松並木の中で現存する1本です。秋田街道絵巻にも松の苗木がたくさん描かれています。古四王神社(寺内)の虫送り祭りは、ここまでが範囲です。



石油(原油)や天然ガスを採取するための機械で、汲み上げた液体およびガスはパイプラインを通じて各プラントに集約されます。秋田ではおなじみですが、全国的にはかなり珍しいものです。



日蓮宗のお寺です。当初は真言宗の寺院でしたが、本山根本寺の僧と問答の末に改宗しました。境内には吉川五明などの句碑や、つばきとけやきの大木があります。



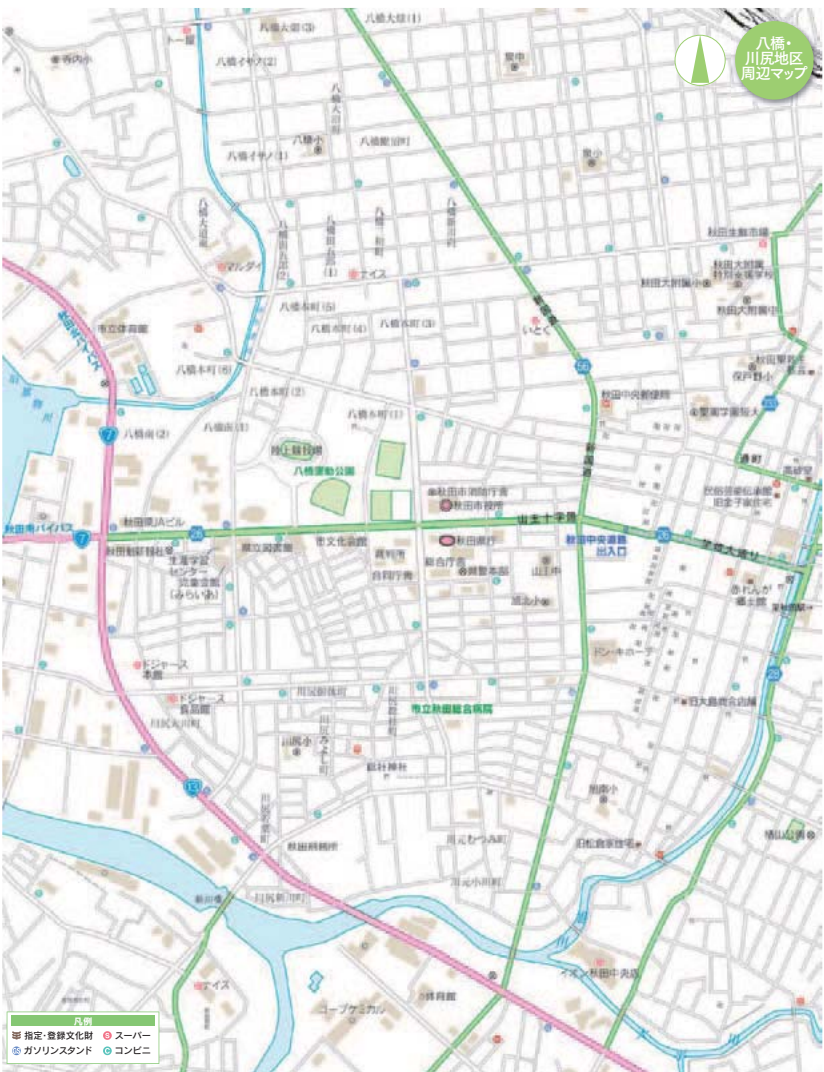
かつては、病気の回復を願う参詣者が、奉納する白布を仁王像に巻き付けていました。



※解説文についている番号は、マップ表面のイラストについている番号に対応しています。

Figure 1 displays a grid of 18 small images, each showing a different pattern or texture. The images are arranged in a 3x6 grid. The labels for the images are as follows:

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24



真言宗のお寺で、境内には100基ほどの庚申塔や鶏卵塚などが立ち並びます。「日本三大庚申の一つ」と称されています。



市指定有形文化財（考古資料）
別名「お延の井戸跡」とも呼ばれ、梵字の教典が刻まれた八角形の井戸跡（井戸側）がありました。石材は別所に保管されています。

中世の武將川尻虎氏の氏神として神明山(千秋公園)に祀られていましたが、久保田城築城に際して榎山川口境へ仮遷座した後、宝永4年(1707)から現在地に鎮座しています。境内には数多くの記念碑があり、ケヤキの大木が森をつくり憩いの場となっています。



宝永4年(1707)に建立された県内唯一の三重塔。



眞言宗のお寺で、藩主佐竹氏の祈願寺でした。最初は寺町、次に久保田城内三の丸（現在の明徳小学校の場所）にありましたが、明治時代以降はこの地に移りました。古くから伝わる木造弘法大師座像は、市指定有形文化財（彫刻）です。



市指定有形民俗文化財

川尻には、藩政時代に藩の大倉庫（石蔵）があり、雄物川を下って県南方面から運ばれた粉米などが貯えられていました。倉に運ぶ際にこぼれた粉米を惜しんで、天保10年（1839）に碑を建立したものです。



市指定無形民俗文化財
悪魔払いを先頭に、武者人形を飾った鹿島船が五穀豊稔・家内安全・交通安全などの願いを込めて、お囃子やジャヨヤサのかけ声と共に町内を練り歩きます。現在は、3町内会から鹿島船が巡行されています。



明治14年(1881)の明治天皇東北・北海道地方巡幸の際、養蚕業奨励のために、輸出用蚕卵紙の製造が盛んであった「川尻組」に臨幸された所です。



市指定天然記念物
推定樹齢1000年の大木で、地域ではご神木として崇拝されています。昭和5年の火災で樹皮の多くを焼失しましたが、僅かに残った部分で樹勢を保っています。



旧羽州浜街道（北国街道）の渡し場として、久保田城下へ入るために寛文8年（1668）に設けられました。

